

平成16年 3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月31日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
 (URL http://www.mgc.co.jp)

(コード番号：4182 東証第1部、大証第1部、名証)

代表者 取締役社長 小高 英紀
 問合せ先責任者 役職名 広報 IR 部長 佐藤 康弘

(TEL : (03) - 3283 - 5041)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高、営業利益及び経常利益の会計処理の方法の
 最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(1) 売上高、営業利益及び経常利益

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	(参考) 持分法投資利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円
16年3月期第1四半期	79,113	1,713	3,545	2,030
15年3月期第1四半期				
(参考)15年3月期	312,119	1,907	2,901	5,697

(注) 売上高、営業利益及び経常利益は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示します。なお、当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[売上高、営業利益及び経常利益に関する補足説明]

当社グループの事業環境は依然として厳しい状況ではありますが、当第1四半期は売上高、営業利益及び経常利益とも概ね計画通りに推移しました。

化学品ではキシレン系製品は堅調に推移しましたが、メタノール市況は引き続き堅調に推移して売上高は増加したものの単体のメタノール及び同誘導品のコストアップ要因となっており、工業薬品類の売上は計画を若干下回りました。

機能製品ではプリント配線板用材料が緩やかながらも需要の回復が見られ、また、エンジニアリングプラスチックも総じて堅調に推移しました。

持分法投資利益は、ベネズエラ；メトール社は年初ゼネストの影響を受けましたが、他社は順調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は79,113百万円、営業利益は1,713百万円、経常利益は3,545百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

先行き原材料価格の上昇などの懸念材料がありますが、持分法投資利益の改善も予想され、当期の業績については概ね期初予想通りと見込んでいます。

（参考）平成16年3月期業績予想（平成15年5月16日発表）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	159,000	5,000	3,500	7 57
通期	328,000	11,500	7,500	16 22

中間期予想営業利益 2,500 百万円 通期予想営業利益 9,000 百万円

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上